



さっぽろのまちづくりに みんなの声を届けよう!

第8号
平成25年2月発行



子どもも通信

この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。

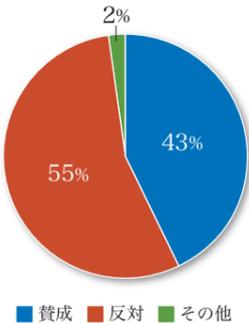
札幌市役所では、さまざまな場面で子どもが意見を言う機会をつくり、子どもの視点を生かすよう取り組んでいます。今回は、事前に募集した子どもからの提案や意見の内容とそれに対する札幌市の考えをお知らせします。

一つ目の取組は、①円山動物園で新たにゾウを飼うことについて、②まち(身近な地域)をよりよくするために自分たちに何ができるかという、2つのテーマについて、ハガキやホームページから意見を書いて送れるように、今年度初めて行ったものです。

ハガキは市内の学校や区役所に配り、10～12月まで意見を募集し、407名の小中学生が意見を書いてくれました。

結果は、次のとおりです。

①ゾウを飼うこと 407名



主な意見や提案の内容

- ・あいさつなど、ちょっとしたことから始めて、何かあったときにすぐ協力できるようにする。
- ・みんなが楽しめるゲームを考えて、区民センターなどの公共施設を借りて地域の人々の交流の場をつくる。
- ・北海道は雪が降るので、子どもたちもお年寄りのために除雪を手伝う。
- ・大人がタバコやゴミをポイ捨てしているので、町内会の子どもたちがみんなで協力してゴミを拾う。
- ・町内の掲示板や、新聞をつかって、まちをPRし、みんなを元気にさせる。
- ・アンケートをとって、1年間どういう活動をしたいかということを集まって決める。

意見や提案に対する

札幌市の考え方

今回のアンケートでは、まちをよくするためのアイデアをたくさんいただきました。多くの意見に共通してい

賛成の主な意見

- ・動物園でゾウを飼うことはゾウを守ることにつながる。
- ・ゾウを見たことのない小さい子どもたちにゾウを見せてあげたい。
- ・たくさんのお客さんがゾウを見て動物園に来てくれる。
- ・かかるお金は募金や寄付で集めればよいと思う。

反対の主な意見

- ・わざわざつれてくるのはかわいそう。
- ・お金がかかりすぎる。震災にあった人への支援など、他のことに使った方がよい。
- ・いなくてもこまらな。
- ・ゾウは飼育が難しく、危険な事故もある。

今、円山動物園で飼っている動物に力を入れることの方が重要。

意見や提案に対する

札幌市の考え方

円山動物園でのゾウの飼育について、たくさんのご意見を本当にありがとうございます。また、

円山動物園では、花子がいなくなった3年後の平成22年より、新たにゾウを飼うべきかどうかの検討・調査を始めましたが、その中でみなさんを含めて、9,600名の方から様々なご意見・提案をいただいています。

その内容はみなさんと同じように、自分が感じたことはもちろん、将来の札幌の子どもたちも含めた札幌市民として必要かどうか、そしてゾウたちの幸せのことまで考えた大変すばらしいものばかりでした。

動物園は、環境のこと、また命の大切さなどをみなさんに考えてもらうことを一つの目的としています。今回のようにみなさんのような子ども

札幌市まちづくり戦略「ビジョン」編「キッズコメント」

二つ目の取組は、今後10年間の札幌市のまちづくりの方向性や目指すべき姿の案について、小中学生から意見を募集しました。

その結果、1,233人から合計2,369件の意見をいただきました。意見の一部を紹介いたします。

主な意見

- 札幌市が先頭にたって自然エネルギーを利用した発電を行うべき。
- 近所の付き合いをもっと深めて、孤独死を無くしてほしい。
- 通学路を中心に安全に登下校ができる歩道の整備や除雪をしてほしい。
- 子どもたちが自由に遊べる場所をつくってほしい。
- ポイ捨てやゴミの不始末を徹底的に改善して、未来の子どもたちへきれいな札幌を受け渡しできるようにしたい。
- いじめのないまちにした

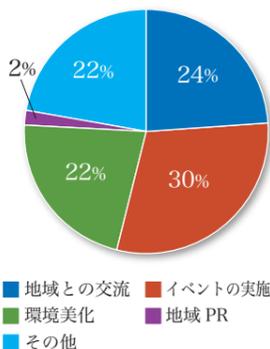
立場の意見を聞かせてもらう機会があったことは、大変有意義であったとありがたく思っています。

今後、みなさんからいただいたご意見・ご提案をもとに、市民にとっても、またゾウたちにとってもよりよい結果が出るよう、じっくりと考えていき、平成26年度に飼うかどうかの最終的な判断をしたいと思っています。今後ともご協力をお願いします。



▲円山動物園にいた花子

②身近な地域の活動 139名



い。学校の先生も徹底的にいじめをなくす気持ちをもってほしい。

意見に対する札幌市の考え方

素晴らしい意見をたくさんいただきましたので、キッズコメントの意見を受けて、当初案を19か所変更します。変更点の一部を紹介します。○子どもが伸び伸びと遊ぶことで成長することを明記 ○美しい景観を維持・創出することを明記 ○いじめや不登校、児童虐待などに迅速かつ適切に対応することを明記 ○変更点や、主な意見に対する札幌市の考え方をまとめた冊子を学校や児童会館にお送りするとともに、ホームページなどでお知らせします。 ○たくさんのご意見をありがとうございました。

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
〒060-0005-1
札幌市中央区南1条東1丁目
大通バスセンタービル1号館3階
☎011-211-2942 FAX011-2943
✉kodomo.kenri@city.sapporo.jp



さっぽろ市
05-F01-12-1524
24-5-413